



114
A 2598
1



議員選舉法

第一章 選舉區畫

第一條 衆議院議員此法律附錄ニ定
ルル各府縣選舉區ニ依リ選舉セラル

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈

第二條 府縣知事ハ其ノ府縣ノ選舉區ノ選舉
ヲ監督ス
一 選舉區ノ選舉ハ郡長又ハ市長ノ選舉長ト
ナリ之ヲ管理ス

第三條 一 選挙區数郡市ニ亘ルトキハ府縣
知事ハ其ノ郡長又ハ市長ノ一人ヲ命ジ選
挙長タルシムヘシ

第三條

第四條 一市ノ区域内ニ於テ數選舉區アルト
キハ府縣知事ハ區長ヲシテ選舉長タラシ
ムルコトヲ得

第五條 選舉ニ関シ費用ハ地方税ヲ以テ支
辨ス

第五條

第二章 選舉人ノ資格

第六條 選舉人タル為ニハ左ノ資格ヲ備フ

ルコトヲ要ス

第一 日本臣民ノ男子ニシテ年齡滿二十五
歲以上ノ者

第二 選舉人名簿調製ノ時ヨリ前滿一年
以上其ノ府縣内ニ於テ本籍ヲ定メ住
居シ仍引續キ住居スル者

第三 選舉人名簿調製ノ時ヨリ前滿一年
以上其ノ府縣内ニ於テ直接國稅十五
第二章第六條

田以上ヲ納メ仍引續キ納ムル者
但所得税ニ付テハ人名簿調製ノ時ヨ
リ前滿三年以上引續キ納ムル者ニ限
ル

第七條 家督ニヨリ財産ヲ相續シタル者ハ其
ノ財産ニ付前財産主ノ納税額ヲ以テ其ノ納
税資格ニ算入ス

第七條

第三章 被選人ノ資格

第八條 被選人タルコトヲ得ル者ハ日本臣民

ノ男子満三十歳以上ニシテ選舉人名簿調製
ノ時ヨリ前満一年以上選舉府縣ノ内外ヲ問
ハズ直接國稅十五回以上ヲ納メ仍引續キ納
ムル者タルヘシ

但所得稅ニ付テハ人名簿調製ノ時ヨリ前
満三年以上引續キ納ムル者ニ限ル

第九條 國務大臣、樞密院議長、副議長、樞密顧問、各省次官、参事官、教官、學術并ニ技術ノ官吏及非職官吏ハ、議負ヲ兼ヌルコトヲ得前項ノ外ノ官吏ハ、被選人タルコトヲ得ス

第九條

第十條 選舉ノ管理ニ關係スル市町村ノ吏員ハ其ノ選舉區ニ於テ被選人タルコトヲ得ス

第十一條 地方ノ議員又ハ吏員ニシテ衆議院
ノ議員ニ選舉セラレ當選ヲ承諾シタルトキ
ハ其ノ前職ヲ辞スハキモノトス

第四章 選舉人及被選舉人ニ通スル規定

第十二條 左ノ項ノ一ニ解シ、者、選舉人

被選舉人タルコトヲ得ズ

一 瘋癲白痴者

二 身代限ノ處分ヲ受ケ負債ノ義務ヲ免レ

サル者

三 公權ヲ剝奪セラレタル者又ハ停止中ノ

者

四 禁錮ノ刑ニ處セラレ滿期ノ後又ハ赦免

ノ後滿三年ヲ經サル者

第四章 第十三條

五 旧法ニ依リ一年以上懲役及國事犯禁獄ノ刑ニ處セラレ滿期ノ後又ハ赦免ノ後滿三年ヲ經サル者

六 賭博犯ニ由リ處刑ヲ受ケ滿期ノ後又ハ赦免ノ後滿三年ヲ經サル者

七 選舉ニ関ル犯罪ニ由リ選舉及被選舉權ノ停止中ノ者

第十三條 陸海軍軍人ハ現役中選舉ノ權ヲ行フコトヲ得ス及被選人タルコトヲ得ス

第十三條

第十四條 華族ノ當主ハ衆議院議員ノ選舉
人及被選舉人タルコトヲ得ス

第十五條 刑事ノ訴ヲ受ケ拘留又ハ保釋中ニ
在ル者ハ其ノ裁判確定ニ至ルマテ選擧ノ權
ヲ行フコトヲ得ス及被選人タルコトヲ得ス

第五章 選舉人名簿

第十六條 選舉長ハ毎年四月三十日マテニ

各町村長ヲシテ一投票所内ニ於テ選舉資格

ヲ有スル者ヲ調査シ人名簿ヲ製シ其ノ副本

ヲ差出サシムヘシ

選舉人名簿ニ選舉人ノ姓名官職職業身

分住所生年月納ムル所ノ直接國稅ノ總額并

ニ納稅地ヲ記載スヘシ

第十七條 町村長は毎年四月三十日までに
新に選舉資格を有する者、死亡者、轉任者、
選舉資格を失はせる者及前年、人名簿
に脱漏し又誤り記載せられたる者ヲ調査
し人名簿ヲ加除改正スヘシ

第十八條 選舉人其ノ住居スル町村ノ外ニ
於テ直接國稅ヲ納ムルトキハ納稅地ノ町
村長又ハ市長若ハ區長ノ證狀ヲ得テ選舉
人名簿調製ノ期日マテニ其ノ住所ノ町村
長ニ差出スヘシ

第十九條 選舉長ハ各町村長ヨリ差出シメ
ル選舉人名簿ヲ合シ一選舉區ヲ以テ一冊
トシ選舉管理ノ郡役所又ハ市役所若ハ區
役所ニ備置キ其ノ副本ヲ府縣知事ニ送致
スヘシ

第十九條

第二十條 選舉人名簿は毎年五月十五日
ヨリ十五日間一選挙区ノ寫ヲ郡役所又ハ
市役所若ハ區役所ニ於テ縦覧ヲ許シ又一
投票所ノ寫ヲ各町村役場ニ於テ縦覧ヲ許
スヘシ

第二十一條 選舉資格アリル人名選舉人名簿
ノ記載ニ漏レ又ニ資格ナキ人名記載アル
トキハ凡ソ選舉資格アリル者ハ其ノ理由書
及證據ヲ具ヘテ經覽期限内ニ選舉長ニ申
立テ其ノ改正ヲ求ムルコトヲ得
經覽期限ヲ経過シタル後前項ノ申立ヲナス
モ其ノ効ナシ

第二十二條 選舉長ニ於テ記載脱漏ノ申立
ヲ受ケタルトキハ其ノ理由及證據ヲ審査シ
申立ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ヲ判
定スヘシ若シ其ノ申立ヲ以テ正當ナリト
判定シタルトキハ直チニ其ノ人名ヲ記載シ
其ノ由ヲ申立人所在地ノ町村長ニ通知シ
併セテ選舉區内ニ告示スヘシ

第二十三條 選舉長ニ於テ記載不當ノ申立
ヲ受ケタルトキハ其ノ理由及證據ヲ審査シ
必要ナル場合ニ於テハ申立人又ハ被告人ヲ
召喚審問シ申立ヲ受ケタル日ヨリ二十日
以内ニ之ヲ判定スヘシ若シ被告人名ノ記載
スヘカラサルコトヲ判定シタルトキハ直チ
ニ之ヲ削除シ其ノ由ヲ被告人所在地ノ町村
長ニ通知シ併セテ選舉區内ニ告示スヘシ

第二十四條 申立人又は被告人ニ於テ選舉長
ノ判定ニ服セサルトキハ選舉長ヲ被告トシ
判定ノ日ヨリ十日以内ニ始審裁判所ニ出訴
スルコトヲ得

第二十五條 始審裁判所ニ於テ前條ノ訴訟
ヲ受取ルトキハ他ノ訴訟ノ順序ニ拘ラス連
ニ其ノ裁判ヲナスヘシ

第二十六條 前條ニ於ケル始審裁判所ノ裁判
ハ確定トシ之ヲ控訴スルコトヲ許サズ但大
審院ニ上告スルコトヲ得

第二十七條 選挙人名簿ハ六月二十五日ヲ以
テ確定期限トシ次年、改正ノ日マテ之ヲ据
置クハシ但裁判言渡書ニ依リ改正スヘキモ
ハ選挙長ニ於テ其ノ言渡書ヲ受取リタル
時ヨリ二十四時内ニ之ヲ改正シ其ノ由ヲ申
立人又ハ被告人所在地ノ町村長ニ通知シ併
セテ選挙区内ニ告示スヘシ

第二十八條 何人タソトモ縦覽期限ニ拘ラス
郡役所又ハ市役所若ハ区役所ニ備置ク所ノ
選舉人名簿正本ノ閱覽又ハ謄寫ヲ請フコト
ヲ得但役所ノ外ニ携ハ去ルコトヲ得ス

第六章

選舉ノ期日及投票所

第二十九條

選舉ハ七月一日ニ之ヲ行フ但衆

議院解散ヲ命セラレタル時ハ勅令ヲ以テ臨

時選舉ノ期日ヲ定メ少クトモ三十日以前ニ

公布スルシ

第三十條 選挙、投票ヲ受取ル為ニ町村役場
又ハ町村長、指定シタル場所ニ於テ投票所
ヲ設ケ町村長之ヲ管理ス

第三十條

第三十一條 一町村ニ於テ選舉人少数ニシテ
一ノ投票所ヲ設クルニ足ラサルトキハ數町
村ヲ合併スルコトヲ得
此ノ場合ニ於テハ郡長ハ府縣知事ノ認可ヲ
經テ合併ノ町村及投票所先ニ投票所管理ノ
町村長ヲ指定スヘシ

第七章

投票

第三十二條

投票ハ午前七時ニ始メ午後六時

ニ終ル

第七章 第三十二條

第三十三條 町村長ハ投票所ニ参會シタル選
舉人ノ中ヨリ抽籤ヲ以テ立會人二名以上五
名以下ヲ定ムハシ

第三十三條

第三十四條 町村長ハ立會人ト共ニ選舉人ノ
面前ニ於テ投票函ヲ開示シ定リタル時刻ノ
後之ヲ閉鎖スヘシ閉鎖ノ後ハ總テ投票スル
コトヲ許サス

第三十五條 投票函ハ二重ノ蓋ヲ造リ二種ノ
鑰ヲ設ケ其一ハ町村長之ヲ管守シ其一ハ
ハ立會人之ヲ管守スハシ

第三十六條 投票用紙ハ内務大臣ヨリ命スル
所ノ一定ノ式ニ依リ町村役場ノ印ヲ捺シ選
挙ノ期日ヨリ少クトモ三日以前ニ町村長ヨ
リ之ヲ各選挙人ニ配付スルシ
選挙人ハ配付ヲ得タル投票用紙ニ被選人ノ
姓名ヲ記載シ之ヲ封緘シテ其ノ表面ニ自己
ノ姓名住所ヲ記載シ及捺印スルシ

第三十七條 各選挙区ニ於テ二人以上ノ議員
ヲ選挙スルトキハ連名投票ヲ用ユハシ

第三十七條

第三十八條 選舉人の選舉、當日日本人自ら投票所ニ至リ、選挙人名簿、對照ヲ經テ其ノ投票ヲ投票函ニ投入スベシ

第三十八條

第三十九條 選舉人名簿ニ記載セラレタル者
ノ外投票ヲ為スコトヲ得ス但裁判言渡書ヲ
所持シ選舉人名簿ニ記載セラルハキ証憑ト
スル者ハ投票所ニ於テ町村長立會人ト共ニ
投票用紙ヲ交付シ投票セシメ其ノ由ヲ投票
明細書ニ記載スヘシ

才三十九条

第四十條

町村長ハ投票明細書ヲ作リ投票
ノ事項ヲ記載シ立會人ト共ニ署名
スヘシ

才四十条

第四十一條

投票函ハ投票ノ翌日投票明細言
ヲ併セテ町村長及一名又ハ数名ノ立會人ト
共ニ之ヲ郡役所又ハ市役所若ハ区役所ニ送
致スヘシ

第四十一條

第四十二條

前條、期限内ニ投票函ヲ送致スルコト能ハサル遠隔、嶋嶼、選挙人中ヨリ豫メ投票総代人二名以上ヲ選挙シ選挙ノ當日郡役所又ハ市役所ニ参會シテ各個ノ投票ヲ提出セシムルコトヲ得ル場合ニ於テハ總代人ハ各選挙人ノ署名捺印シタル委任状ヲ選挙長ニ差出スベシ

第八章 選挙検査

第四十三條 選挙長ハ各投票所ヨリ参會シテ
立會人ノ中ヨリ抽籤ヲ以テ選挙検査委員
三名以上七名以下ヲ定ムルニ但官吏ハ選挙
検査委員タルコトヲ得ス

第四十四條 選挙長は投票函送達、翌日選挙
検査委員立會、上各投票函ヲ開キ投票ノ總
數ト投票人ノ總數トヲ計算ス、シ若シ投票
ト投票人トノ總數ニ差異ヲ生シタルトキハ
其ノ由ヲ選挙明細書ニ記載ス、シ

第四十四條

第四十五條 總數ノ計算ヲ終リタルトキハ選
舉長ハ選舉検査委員ト共ニ投票ヲ互檢スハ
シ

第四十六條 投票ヲ点檢スルニ當リ其ノ選挙
区ノ選挙人參觀ヲ求ムル者アレハ之ヲ許ス
ハシ

第四十六條

第四十七條 左ニ掲クル投票ハ無効トシ投票

ノ總數ヨリ之ヲ除却スハシ

一 選挙人名簿ニ記載ナキ者ノ投票但裁判
言渡書ヲ所持シタルニ依リ投票シタル
者ハ此ノ限ニ在ラズ

二 成規ノ用紙ヲ用井サルモノ

三 選挙人自己ノ姓名ヲ記載セサルモノ

四 資格ナキ被選人ノ姓名ヲ記載スルモノ
但連名投票ニ列記スル人員中資格アル
者ニ付テハ其ノ効アルモノトス

五

誤字又ハ汚染塗抹毀損ニ依リ記載スル
所ノ選挙人又ハ被選人ノ姓名ヲ認知ス
ハカラザルモノ但通常ノ假名字ヲ用井
又ハ誤字ニ係ルモ明ニ其ノ姓名ヲ認知
スルコトヲ得ルモノハ此ノ限ニ在ラス
六
第三十六條第二項第三十七條ニ規定シ
タル外他ノ文字ヲ記載シタルモノ但被
選人ノ指名ヲ誤ラサル為ニ其ノ官位職
業身分又ハ住所ヲ附記シタルモノハ
此ノ限ニ在ラス

第四十八條

無効ノ投票ハ抹線ヲ加ハ其ノ由
ヲ選挙明細書ニ記載シ一箇年間之ヲ保存シ
期限ヲ経過シタル後燒棄スル

第四十八條

第四十九條 投票ニ記載シタル人員其ノ選舉

スハキ定員ヨリ多キトキハ定員ニ超エタル
人名ヲ末尾ヨリ除却スル
連名投票ニシテ其ノ選舉スハキ定員ニ足ラ
ザルトキハ現ニ記載シタル者ノミヲ計算ス
ル但一人ノ姓名ヲ複記シタル者ハ一人ト
シテ之ヲ計算スル

第五十條 投票ハ六十日間之ヲ郡役所又ハ市
役所若ハ區役所ニ保存シ期限ヲ經過シタル
後之ヲ燒棄ツヘシ

第五十一條 選舉ニ関シ訴訟又ハ告訴告発ア
ルトキハ第四十八條第五十條ノ期限ヲ經過
スルモ裁判確定ニ至ルマテ其ノ投票ヲ保存
スヘシ

第五十二條 選舉長ハ選舉明細書ヲ作リ選
舉検査ニ関ル一切ノ事項ヲ記載シ選舉檢
査委員ト共ニ署名シ之ヲ保存スヘシ

第九章 當選人

第五十三條 投票総数ノ最多数ヲ得タル者ハ

之ヲ當選人トス

投票同数ナルトキハ生年月ノ長者ヲ以テ當

選人トス同年月ナルトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ

定ムヘシ

第五十四條 當選人之リタルトキハ選考長
ハ直チニ其ノ姓名及投票ノ數ヲ府縣知事
ニ届出ツヘシ

第五十四條

第五十五條 府縣知事前條ノ届出ヲ受ケタル
トキハ各當選人ニ通知シ其ノ府縣内ニ於テ
ル當選人ノ姓名ヲ管内ニ告示スヘシ

第五十六條 當選人當選ノ通知ヲ受ケタルト
キハ直チニ其ノ當選ヲ承諾スルヤ否ヲ府縣
知事ニ届出ツヘシ

第五十七條 一人ニシテ數選券區ノ當選人ト
ナリタル者當選ノ通知ヲ受ケタルトキハ直
チニ何レノ選券區ノ當選ヲ承諾スル旨ヲ府
縣知事ニ届出ツヘシ

第五十八條 當選人其ノ府縣内ニ在ル者ハ十日以内其ノ府縣外ニ在ル者ハ二十日以内ニ當選承諾ノ届出ヲナサル者ハ其ノ當選ヲ辞シタルモノト見做ス

第五十九條 當選人ニシテ其ノ當選ヲ辭シ又
ハ期限内ニ其ノ當選ノ承諾ヲ届出サルトキ
ハ府縣知事ハ選舉ノ期日ヲ定メ其ノ選舉
長ニ命シ再ヒ選舉ヲ行ハシムヘシ但第五十
三條第二項ノ場合ニ於テ抽籤ニ依リ當選ヲ
得タル者其ノ當選ヲ辭シ又ハ其ノ承諾ヲ届
出サルトキハ抽籤ニ依リ當選ヲ失ヒタル者
ヲ以テ當選人ト定ムヘシ

第六十條 各選挙区ノ当選人確定シタルトキ
ハ府縣知事ハ當選證書ヲ付與シ及管内ニ告
示シ并ニ當選人ノ資格ヲ録シテ内務大臣ニ
具申スヘシ

第十章 議員ノ任期及補闕選舉

第六十一條 議員ノ任期ハ四年トス但任期ヲ終リタル後仍選舉ニ應スルコトヲ得

第六十二條 諸般ノ事故ニ依リ議員ノ闕員ヲ
生シ内務大臣ヨリ補闕選券ヲ闕ノヘキ旨ヲ
命セラレタルトキハ府縣知事ハ其ノ命ヲ受
ケタル日ヨリ二十日以内ニ闕員ノ選券區ニ
限リ臨時選券ヲ行ヒ補闕議員ヲ選券セシム
ヘシ

第六十三條 補闕議員ノ任期ハ前議員ノ任期ニ從フ

第十一章 投票所取締

第六十四條 投票管理ノ町村長ハ投票所ノ秩序ヲ保持シ必要ナル場合ニ於テハ警察官吏ノ處方ヲ求ムルコトヲ得

第六十五條 凡ソ我蕃又ハ兜番ヲ携帶スル者
ハ投票所ニ入ルコトヲ許サス
投票所又ハ其ノ近傍ニ於テハ一切ノ演説討
論及喧譟ヲ禁ス

第六十五條

第六十六條 選挙人ニ非サル者投票所ニ進入
シ又ハ前條ノ禁ヲ犯シ其ノ他凡テ秩序ヲ乱
ル者アルトキハ町村長ハ之ヲ投票所ノ外ニ
退出セシムヘシ

第六十七條 刑法又ハ本法ノ犯罪者ハ其ノ姓名ヲ投票明細書ニ記載シ投票スルコトヲ許サス

第六十八條 投票所ノ外ニ退出セシメタル者
ハ前條ノ犯罪者ヲ除ク外其ノ投票ヲ投入ス
ル為ニ再ヒ投票所ノ内ニ呼入ルヘシ

第六十九條 投票ニ關ル爭議ハ投票管理ノ
町村長之ヲ判定ス此ノ判定ニ對シテハ第七
十一條ニ依リ訴訟ヲナスコトヲ得ルモ投票
所ニ於テ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス

第七十條 郡役所又ハ市役所若ハ區役所ニ於
テ選舉検査ノ場合ニ當リ參觀ヲ求ムル者ハ
總テ第六十四條第六十五條第六十六條ノ例
ニ照シ選舉長之ヲ遵フスヘシ

第十二章 當選訴訟

第七十一條 各選挙区ニ於テ當選ヲ失ヒタル者當選人ノ當選無効トスルノ理由アリト認めルトキハ當選人ヲ被告トシ確定當選人ノ姓名告示ノ日ヨリ三十日以内ニ控訴院ニ出訴スルコトヲ得
其ノ期限ヲ經過シタル後出訴スルモ其ノ効ナシ

第七十二條 原告人ハ訴訟狀ト共ニ保證金ト
シテ金三百圓又ハ之ニ相當スル公債證書若
ハ政府ノ保證アル會社ノ株券ヲ控訴院書記
局ニ預置クヘシ但控訴院ノ認可ヲ經テ保證
人ヲ届出テ預金ヲナサルコトヲ得

第七十三條 原告人敗訴ノ場合ニ於テ裁判言
渡ノ日ヨリ七日以内ニ一切ノ裁判費用ヲ納
完セサルトキハ保證金ヨリ之ヲ控除シ仍足
ラサルトキハ之ヲ追徴スヘシ
保證人ヲ没ケタル場合ニ於テハ原告人ヨリ
追徴シ仍足ラサルトキハ保證人ヲシテ之ヲ
辨償セシムヘシ

第七十四條 同一ノ當選人ニ對シ二人以上ノ
原告人ヨリ訴訟ヲナシタルトキハ控訴院ハ
一ノ裁判言渡書ニ於テ合セテ之ヲ裁判スル
コトヲ得

第七十四條

第七十五條 審判中訴訟ノ目的タル當選人ニ
シテ貴族院ノ議員ニ任セラレ又ハ議員ヲ兼
スルコトヲ得サル官吏ニ任セラレ、モ控訴
院ハ仍其ノ審判ヲ繼續スヘシ

第七十六條 審判中衆議院解散ノ命アルトキ
ハ控訴院ハ其ノ訴訟ヲ棄却スヘシ

第七十六條

第七十七條 原告人訴訟ヲ願下ケタルトキハ
新聞紙又ハ其ノ他ノ方法ヲ以テ其ノ由ヲ公
告スヘシ

第七十七條

第七十八條 控訴院ハ訴訟ヲ審判シタル後當
選無効ノ言渡ヲナシ及當選ヲ失ヒタル者ヲ
以テ當選人ト判定スルノ言渡ヲナスコトヲ
得
當選ヲ失ヒタル者ヲ以テ當選人ト判定スル
裁判言渡書ハ當選證書ノ効力ヲ有ス

第七十九條 控訴院ハ訴訟ヲ審判スルニ当リ
本件ト附帶スル刑法又ハ本法ノ犯罪者ニ限
リ直キニ處刑ノ言渡ヲナスコトヲ得但此ノ
場合ニ於テハ換察官ノ立会ヲ求ムヘシ
當選訴訟ト附帶ヒザル場合ニ於ケル本法ノ
犯罪者ハ所轄刑事裁判所ニ於テ之ヲ裁判ス

第八十條 控訴院ニ於テ当選無効及当選人判

定ノ言渡ヲナシタルトキハ其ノ裁判言渡書

ノ謄本ヲ内務大臣ニ送付スヘシ若シ衆議院

開会スルトキハ併セテ議長ニ之ヲ送付スヘ

シ

第八十條

第八十一條 当選訴訟ニ付控訴院ノ裁判ニ對
シテハ大審院ニ上告スルコトヲ得

第八十二條

第八十二條

第八十二條 訴訟ノ目的タル當選人ハ其ノ裁
判確定ニ至ルマテ衆議院ニ列席スルノ權ヲ
失ハス

第八十三條

第八十三條 当選訴訟ニ付本章ニ規定シタル
モノ、外惣テ普通ノ訴訟手續ニ依ル

第十三章 罰則

第八十四條 納税額、年齢、住所及其他選舉資

格ニ必要ナル事項ヲ詐称シ選舉人名簿ニ記

載セラレタル者ハ四圓以上四十圓以上ノ罰

金ニ處ス

第十三章 第八十四條

第八十五條 何等ノ各義ヲ問ハス選舉ノ際直
接又ハ間接ニ金錢物品等形若ハ公私ノ職務
ヲ選舉人ニ授与シ又ハ授与スルコトヲ約束
シタル者ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處
ス
其ノ授与又ハ約束ヲ受ケタル者亦同シ

第八十六條 直接又ハ間接ニ金錢物品手形若
ハ公私ノ職務ヲ選舉人ニ授与シ又ハ授与ス
ルコトヲ約束シテ投票ヲ得又ハ他人ニ投票
ヲ得セシメ若ハ投票ヲ抑ヘタル者ハ刑法第
二百三十四條ノ例ヲ以テ論ス

第八十七條

投票ヲ得又ハ他人ニ投票ヲ得セ

シメ若ハ投票ヲ抑フルノ目的ヲ以テ選舉人
ニ暴行ヲ加ヘタル者ハ一月以上六月以下ノ
輕禁錮ニ處シ五回以上五十回以下ノ罰金ヲ
附加ス

第八十七條

第八十八條 選舉人ニ暴行ヲ加ヘテ投票ヲ得
又ハ他人ニ投票ヲ得セシメ若ハ投票ヲ抑ヘ
タル者ハ六月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ
十日以上百日以下ノ罰金ヲ附加ス

第八十九條 選舉人ヲ強逼シ又ハ投票所若ハ

選舉会場ヲ騷擾スルノ目的ヲ以テ多衆ヲ嘯

聚シタル者ハ六月以上二年以下ノ輕禁錮ニ

處シ十回以上百回以下ノ罰金ヲ附加ス

其ノ情ヲ知テ嘯聚ニ應シ勢ヲ助ケタル者ハ

十五日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ三四以

上三十回以下ノ罰金ヲ附加ス

犯罪者或器又ハ兇器ヲ携帯シタルトキハ各

一等ヲ加フ

第八十九條

第九十條 選挙ノ際管理者ノ秩序ヲ維持スル
命令ニ抵抗シ又ハ暴行ヲ行ハシ投票所若ハ選
挙会場ヲ騒擾シタル者ハ三月以上三年以下
ノ軽禁錮ニ處シ五回以上百回以下ノ罰金ヲ

附加ス

犯罪者武器又ハ兇器ヲ携帯シタルトキハ各
一等ヲ加フ

第九十一條 多衆ヲ嘯聚シテ前條ノ罪ヲ犯シ

タル者ハ重禁獄ニ處シ五十回以上五百回以

下ノ罰金ヲ附加ス

其ノ情ヲ知テ嘯聚ニ應シ勢ヲ助ケタル者ハ

輕禁獄ニ處シ十回以上百回以下ノ罰金ヲ附

加ス

犯罪者戎器又ハ兇器ヲ携帶シタルトキハ各

一等ヲ加フ

第九十一條

第九十二條 演說新聞紙又ハ其ノ他ノ文書ヲ

以テ前三條ノ罪ヲ犯スコトヲ教唆シタル者
教唆ノ効トキトキハ本刑ニ二等又ハ三等ヲ
減ス

第九十二條

第九十三條 戎器又ハ兜器ヲ携帶シテ投票所
ニ入りタル者ハ三四以上三十回以下ノ罰金
ニ處ス

第九十四條 当選人ニ於テ第八十四條乃至第
九十三條ノ刑ニ處ヒラレタルトキハ其ノ当
選ハ凡テ無効トス

第九十四條

第九十五條 選舉人名簿ニ記載セラレサル者
投票ヲナシタルトヤハ三回以上三十回以下
ノ罰金ニ處ス

第九十五條

第九十六條 選舉權停止中ノ者投票ヲナシタ
ルトキハ一月以上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ
四回以上四十回以下ノ罰金ヲ附加ス

第九十七條 前數條ノ罪ヲ犯シ禁錮以上ノ刑
ニ處セラレ又ハ再ヒ罰金ノ刑ニ處セラレタ
ル者ハ三年以上七年以下選舉及被選舉權ヲ停
止ス

第九十八條 立会人又ハ選挙検査委員故ナク
選挙ノ定日ニ参会セサル者ハ五回以上五十
回以下ノ罰金ニ處ス

第九十九條 凡于選舉ニ関ル犯罪ハ六箇月ヲ
以テ期滿免除トス

第九十九條

第百條 此ノ罰則ハ第六十五條第六十六條第六十七條ト共ニ投票所及選舉会場ニ貼示スヘシ

第百條

第十四章 補則

第一百一條 市制ヲ施行スル地方ニ於テハ一市

ニ一ノ投票所ヲ設ケ此ノ法律ニ定メタル投

票及選舉ノ管理ハ市長兼テ之ヲ掌ルヘシ

第四條ノ場合ニ於テハ一選舉區ニ一ノ投票

所ヲ設ケ此ノ法律ニ定メタル投票及選舉ノ

管理ハ區長兼テ之ヲ掌ルヘシ

第百二條 前條ノ場合ニ於テハ市長又ハ區長
ハ參會シタル選舉人ノ中ヨリ抽籤ヲ以テ選
舉検査委員三名以上七名以下ヲ定メ投票ニ
立會ヒ併セテ投票ヲ點檢セシムヘシ
此ノ場合ニ於ケル選舉明細書ハ併セテ投票
ノ事項ヲ記載スヘシ

第百二條



